

| | |
|------------------|---|
| Title | 前号目次 奥付 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾理財学会 |
| Publication year | 1926 |
| Jtitle | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.20, No.9 (1926. 9) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19260901-0153 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

不換紙幣及び公債の説明に入る。

統制經濟と自由經濟とは一見調和し難い矛盾のやうであるが、自由經濟も其活動の範圍は法律によつて統制せられてゐる。更に自由經濟は統制經濟によつて或程度まで統制せられてゐる。自由經濟に代つて統制經濟が唱道せらるゝも、統制のための統制は無意味である。生の内部に發展して統一を求め、力を出来るだけ自由に發展せしめる統制でなければならぬ。統制の内容が問題である。統制の方法、内容について各人が自由に意志を發表し、反省的なる何人もが合理的(矛盾の統一)であると承認する統制を行はなければならない。

六百六十餘頁に亘る本書の内容を僅々數頁に充分紹介することは出来ないことであるし、又未だ卒讀の際ではあるが、近來盛んとなつて來た我國の經濟の研究中にあつて本書正に白眉であることは疑はない。價格經濟と財政との交錯した關係を説くことを主眼として居るから歴史的敘述には左程多くを費さないが我國現在の國民經濟と理解するには全く充分である。行文の平易なる事は讀者をして非常に理解を助けた様に思はれる。

高木壽一

前號 (第二十八號) 目次

(大正十五年八月號)

勞農露西亞に於ける農民問題

小泉 信三

フイゾイオクラートの學說の出所

瀧本 誠一

階級闘争説に於けるマルクスと

其の先驅者

平井 新

經濟學に於ける純粹悟性概念の

演繹

武部與八郎

●一冊定價金五拾錢
●半年分金貳圓九拾錢
●一年分金五圓四拾錢
郵税金壹錢五厘
郵税 共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正十五年八月廿一日印刷納本
大正十五年九月一日發行
每月一回一日發行

三田學會雜誌
禁轉載
第二十二卷第九號
編輯者 江田 範保
發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者 金子 鐵五郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
金子活版所

發賣元 東京市芝區三田貳丁目壹番地
丸善株式會社三田出張所
電話高輪 一九二六
●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京三田芝 慶應義塾内 理財學會